

平成29年度図書館利用者と館長との懇談会 ～利用者からの意見等への回答(概要)～

【対応状況・凡例】			
◎ すでに対応している項目			
○ 早急に対応を行う項目			
□ 施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目			
－ 対応が困難な項目			
★ その他、上記以外のもの			

  

番号	利用者からの意見・要望の概要	図書館の考え方	対応状況
1	練馬区教育要覧において、指定管理者図書館にも職員数の記載があるが、併せて昨年度の司書数の実績を載せてもよいのではないかな。	練馬区教育要覧では各館の職員数を記載しています。直営館では4月1日時点の職員数を記載しています。 指定管理者館の職員数については、様々な勤務形態があることから、4月1日時点での当該年度予定として年間労働時間の合計を1500時間を一人として換算した数値を記載しています。	★
2	練馬区教育要覧において、所蔵資料数のうち布の絵本はどこに分類されているのか。	教育要覧の記載については今後検討します。	★
3	昨年度の利用者懇談会において、「対面朗読室の使用の際、震災時等、非常時に指示を光が丘図書館に仰がねばならず、指定管理者館でも館長に責任を持たせるべき」との意見に対し、図書館側は協定の見直しを検討していたが、その後どうなったか。	直営、指定管理に関わらず、施設を管理する者は、緊急時を含めて、利用者の安全を確保することは当然であるため、協定を見直すといった対応はしませんでした。 なお、指定管理者とは「指定管理者による管理に関する基本協定の災害時における施設の利用に関する協定細目」を締結しており、災害時には施設利用者の安全確保を最優先に行動すること等を定めています。	★
4	対面朗読サービスは光が丘図書館が管轄しているが、各館の対面朗読室で朗読ボランティアや利用者が時間通りに到着し、対面朗読が確実に実施されているかの管理は現場である各館で行ってほしい。	各館で対面朗読室の利用記録をつけて実施状況を把握していますが、改めて各館で徹底します。	◎

5	非常時における対面朗読利用者の安全確保についてマニュアル等で明文化し、各館に周知徹底してほしい。	現行の非常時対応マニュアルに、対面朗読室利用者の対応を加える方向で検討します。	○
6	光が丘図書館以外の各館の利用者懇談会会議録も公開してほしい。	光が丘を除く各館分は意見の概要を掲載しています。会議録については、来年度から全館分を図書館ホームページに掲載する予定です。	□
7	事業の実施等で図書館の視聴覚室・会議室を利用する際に、可能であればあらかじめ年間予定のなかに組み入れてほしい。	図書館に関連する利用の場合は3か月前から、それ以外の利用については2か月前からの申込受付となっています。	—
8	88鍵ある電子ピアノを光が丘図書館の視聴覚室に設置してほしい。	現在、49鍵の電子ピアノを設置しています。今後の需要等を踏まえ検討します。	□
9	練馬区教育要覧において、所蔵資料数のうち視覚障害者用資料は光が丘図書館にしか記載がないものが多い。これはどうしてなのか。	デージー資料をはじめ、視覚障害者用資料は、基本的に光が丘図書館に集約しているためです。	◎
10	視聴覚室のプロジェクターを利用しようとしたが、何らかの不具合により正しく接続されなかった。困るので何らかの対処をお願いしたい。	接続機器を用意しましたので、ご利用の際に受付でお申し出ください。	◎
11	閉架書庫にある絵本などを開架に置いて有効活用してほしい。ラベルによって管理すれば効率的である。	各季節毎のテーマ展示に合わせて、閉架書庫の資料も展示に使用するなど開架で活用しています。また、夏休み等利用者が多く、開架書庫が空くときも閉架書庫の資料を開架に移動して活用しています。	◎ ★
12	児童コーナーの書架の配置が変わったように思う。何か理由があつてのことなのか。	児童コーナーでは絵本書架を資料収納の容量を増やすため、波型の形状から直線の書架に入れ替えました。	◎
13	OPACで和文絵本の英文の有無について検索できるようだが、確実性のある検索ができるのか。	現行システムで可能な限りの確実性を備えています。	◎
14	展示テーマ図書を行っているが、一般書の扱いが少ないのではないか。	ご意見を受け検討します。	□

15	練馬区の図書購入費の状況について教えてほしい。	平成27年度の決算数値は 219,661千円 平成28年度の決算数値は 223,894千円 となっています。	★
16	図書館で実施する事業や音訳ボランティア養成等について、区民への周知や広報はどのように行っているのか。	区報掲載はスペースが限られるため、図書館ホームページと館内掲示を中心に周知しています。全区的な事業は区報にも掲載しています。	◎
17	物品や図書資料の寄贈・リサイクルについて、図書館ホームページ等で案内をしてみてもどうか。	ご意見を受け検討します。	□
18	貫井図書館のように夜9時まで開館している図書館を夜8時閉館とし、代わりに受取窓口を長時間開館したほうが費用対効果が高いのではないかと。また休館中の図書資料輸送といった物流コストも削減できるのではないかと。	図書館と受取窓口とは機能が異なりますので、夜間の開館については引き続き利用状況等を踏まえて検討します。 またご指摘の方法を取っても資料輸送頻度は変わりません。	—
19	練馬区の図書館ホームページは他区のものと比較しても非常に使いづらい。システム更新にあたり利用者の意見をしっかり反映させてもらいたい。	図書館システムはパッケージの採用となるため、カスタマイズには限界がありますが、可能な限り利用者のご意見を反映したいと考えています。	□
20	音訳ボランティアの選考に漏れた場合は、次回募集の際に再度選考を受けることはできるのか。	選考に漏れたことをもって再応募を妨げるものではありませんので、次回も応募いただけます。	◎
21	図書館にとって最も大切なことは選書である。図書館職員がしっかりと館内を歩き本に関する感覚を深め、適切な選書を行ってほしい。	ご期待に応えられるよう、適切な選書に努めます。	◎
22	図書館職員として多くのことを学んでほしい。図書館長を含めこれからの図書館について語り合いのできる場を設けてほしい。	職員に様々な研修への参加を促します。また、語り合う場については今後検討します。	□
23	貸出票がカウンターで出力できるということはあまり知られていないので、周知してもらいたい。 また個人情報の漏洩防止のため、表示される利用者番号をアスタリスク表記してはどうか。	貸出票については、カウンターの混雑を招く恐れがあることから積極的なアナウンスは行っておりません。 利用者番号のアスタリスク化は現在システム業者に見積依頼中です。	□

24	利用者懇談会の館内掲示での周知について。最も利用者が目にする場所に掲示をお願いするとともに、全館にも効果的な掲示を行うよう周知徹底してほしい。	効果的に周知するため、館内掲示の大きさや場所を検討します。	○
25	(懇談会アンケート意見より抜粋) 利用者を増やす方策は何か行っているのか。	各種行事の開催や、区報・ホームページでの広報等の方策を行っていますが、今後とも有効な方法を模索してまいります。	◎
26	(懇談会アンケート意見より抜粋) 以前に大泉図書館で聞いたことだが、大泉図書館独自で行う選書は4割ほどで、残りは光が丘図書館からということだった。全館そのようにしているのか。またそうしている理由はあるのか。	指定管理者館については各館同様です。各館の特色を出しつつ、区として所蔵資料に対しての責任を担保するために、こうした方法を用いています。	◎
27	(懇談会アンケート意見より抜粋) 音訳図書の選書はひどいと感じることがある。なぜ一言利用者の希望を聞かないのか。	29年度から新着案内に「リクエストがあったらお気軽にご連絡ください。」のアナウンスを入れています。さらに30年度から資料貸出時に簡単なアンケートを同封することを検討しています。	○

※光が丘図書館は中央館的機能を有する館のため、区立図書館全体に関する質問、意見等についても回答しています。